学費の公私間格差是正、『私学も無償に』、就学支援金制度の維持・拡充、

私学助成署名推進ニュース

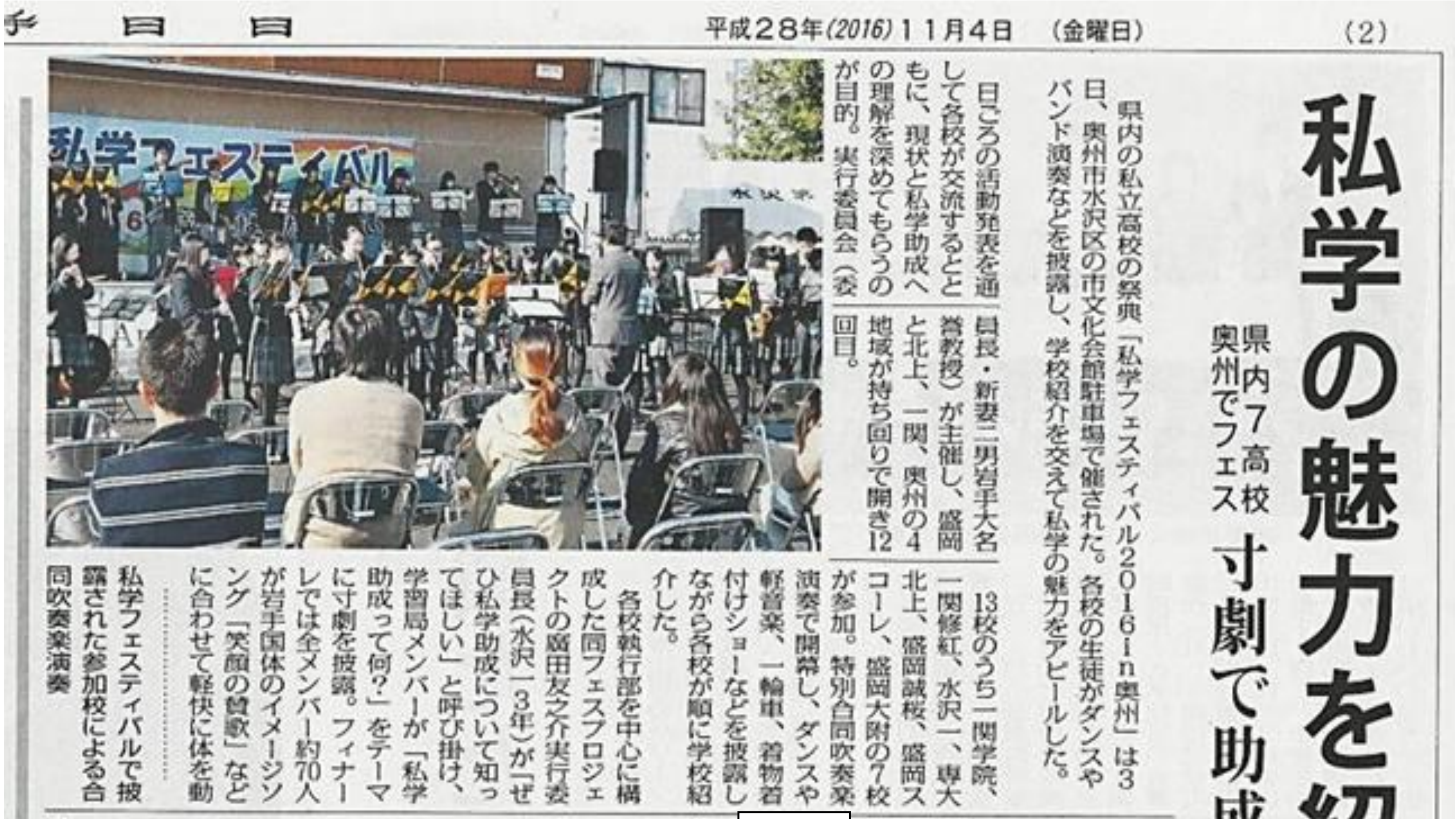
全国私立学校教職員組合連合
No.21　2016年11月10日（木）

岩手　「私学フェスティバル２０１６in奥州」

推進ニュース17号で報じた岩手の「私学フェスティバル 2016in 奥州」の続報です。

昨年の岩手花巻全私研につづき、今年は国体が開催される中でのフェスティバルでした。奥州市文化会館駐車場を会場に、ステージとしてトレーラーを設置。

恒例の合同吹奏楽の演奏をはじめ、水沢第一高校、一関学院、一関修紅、専大北上、盛岡誠桜、盛岡スコーレ、盛岡大附属の７校がダンス部、軽音楽部などがパフォーマンスを披露しました。



手　日　日　平成28年(2016) 11月4日　(金曜日)　(2)

私学の魅力を紹介

県内7高校　奥州でフェス

寸劇で助成も周知

県内の私立高校の祭典「私学フェスティバル2016in奥州」は3日、奥州市水沢区の市文化会館駐車場で催された。各校の生徒がダンスやバンド演奏などを披露し、学校紹介を交えて私学の魅力をアピールした。

日ごろの活動発表を通して各校が交流するとともに、現状と私学助成への理解を深めてもらうのが目的。実行委員会（委員長・新妻二男岩手大名誉教授）が主催し、盛岡と北上、一関、奥州の4地域が持ち回りで開き12回目。

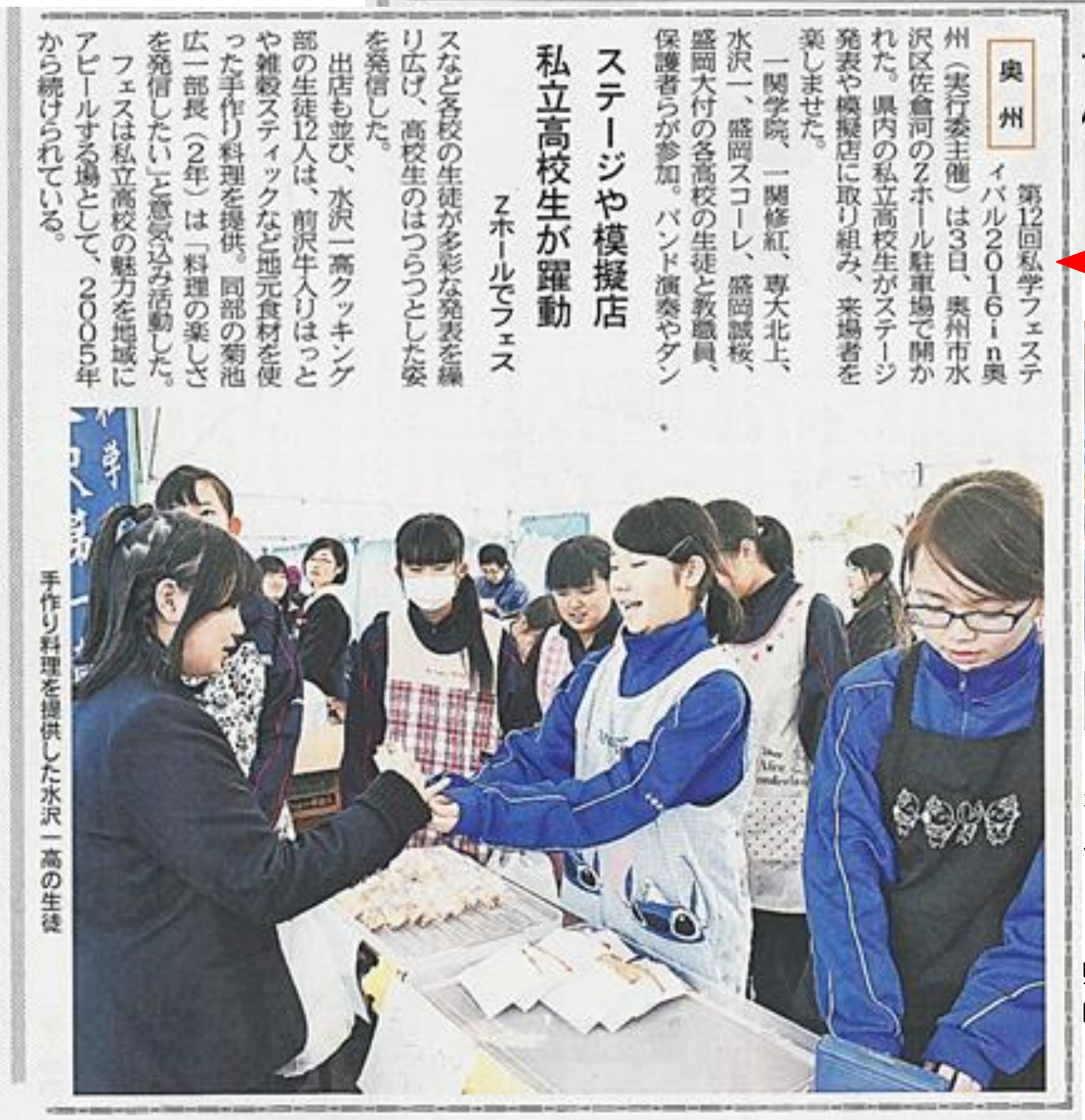
13校のうち一関学院、一関修紅、水沢一、専大北上、盛岡誠桜、盛岡スコーレ、盛岡大附の7校が参加。特別合同吹奏楽演奏で開幕し、ダンスや軽音楽、一輪車、着物着付けショーなどを披露しながら各校が順に学校紹介した。

各校執行部を中心に構成した同フェスプロジェクトの盛田友之介実行委員長（水沢一3年）が「ぜひ私学助成について知ってほしい」と呼び掛け、学習局メンバーが「私学助成って何？」をテーマに寸劇を披露。フィナーレでは全メンバー約70人が岩手国体のイメージソング「笑顔の賛歌」などに合わせて軽快に体を動かした。

会場では、各校生徒による焼きそばやご当地サイダー、すいとんなどの模擬店が並んだほか、学校案内のパンフレットを配布し、私学助成の拡充を求める署名への協力を呼び掛けた。

私学フェスティバルで披露された参加校による合同吹奏楽演奏

２０１６年11月４日「岩手日日」



奥州

ステージや模擬店　私立高校生が躍動

Zホールでフェス

第12回私学フェスティバル2016in奥州（実行委主催）は3日、奥州市水沢区佐倉河のZホール駐車場で開かれた。県内の私立高校生がステージ発表や模擬店に取り組み、来場者を楽しませた。

一関学院、一関修紅、専大北上、水沢一、盛岡スコーレ、盛岡誠桜、盛岡大付の各高校の生徒と教職員、保護者らが参加。バンド演奏やダンスなど各校の生徒が多彩な発表を繰り広げ、高校生のはつらつとした姿を発信した。

出店も並び、水沢一高クッキング部の生徒12人は、前沢牛入りはっとや雑穀スティックなど地元食材を使った手作り料理を提供。同部の菊池広一部長（2年）は「料理の楽しさを発信したい」と意気込み活動した。

フェスは私立高校の魅力を地域にアピールする場として、2005年から続けられている。

手作り料理を提供した水沢一高の生徒

2016年11月5日「岩手日報」

県内私学合同吹奏楽の演奏

快晴の空の下、地元水沢第一高校からの 150 名参加を含め、生徒・教職員・父母を合わせて 400 名を超える参加者でした。

来賓は、黄川田徹衆議院議員(民)、小沢一郎衆議院議員(由)、平野達男参議院議員(無) の３名の国会議員の秘書、県議会議員３名、奥州市長代理、金ヶ崎副町長、市議会・町議会議員７名、金ヶ崎町教育長の１６名でした

私学フェスティバル
Appeal ~私たちの足で踏み出そう

議員・教育長などの来賓が登壇